

戦地へ ～ 少年飛行兵の出征旗 ～

会期：令和5年8月1日（火）～31日（木）

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

本市では、令和5年3月31日付けで昭和20年（1945）の出征旗1枚と、その参考資料として写真類4点の寄贈を受けました。

出征旗は、八女市出身の室園梯二郎氏が熊谷陸軍飛行学校の少年飛行兵として出征する際に寄せ書きされたものです。写真類には、梯二郎氏が同校に入校した時の全身写真や、在学中の集合写真などがあります。

資料を通して、太平洋戦争末期の戦局に翻弄された少年飛行兵の実態が浮かび上がります。

●室園梯二郎氏と出征旗

梯二郎氏は、昭和4年（1929）に八女市に生まれ、昭和18年（1943）に13歳で少年飛行兵を志願し、東京陸軍少年飛行兵学校に入校しました。卒業後は、熊谷陸軍飛行学校17期第一区隊（大倉隊）第二班（北山隊）へ配属となり、厳しい訓練を受けました。

昭和20年（1945）7月に出撃の命令が下ります。出征旗はこの時、梯二郎氏の父親や、卒業した尋常小学校の教師・同級生などから寄せ書きされたもので、少年飛行兵を鼓舞する「制空」「空之神兵」といった言葉が並んでいます。

●梯二郎氏写真

昭和20年（1945）
遺影として撮影された。



●出征旗 昭和20年（1945）

画面右下に、梯二郎氏の父（室園繁人）による「制空」の文字がある。
画面下左「甲木房義」から「大石良喜」まで4名が尋常小学校の教員。



●少年飛行兵と陸軍少年飛行兵学校

昭和8年(1933)、優秀な技術を持った下士官の養成を目的に少年兵制度が創設され、航空機による攻撃の重要度が高まると、昭和12年(1937)、三尻村(現埼玉県熊谷市)にある熊谷陸軍飛行学校内に東京陸軍航空学校が開設されました。翌13年(1938)9月に村山村(現東京都武蔵村山市)の新校舎へ移転し、昭和18年(1943)3月には名称を東京陸軍少年飛行兵学校と改めました。学校では、飛行機に関する座学や実習、軍事訓練などが行われました。

●東京陸軍少年飛行兵学校集合写真 昭和戦前期



室園梯二郎 略歴

※年齢は満年齢を表記 ※内容は親族からの聞き取りによる

西暦	和暦	年齢	内容
1929	昭和4年 7月	0	八女市に生まれる。
1942	昭和17年	12	福岡県八女工業学校(現福岡県立八女工業高等学校)へ入学。
1943	昭和18年	13	陸軍の少年飛行兵に志願。
	// 10月	14	東京陸軍少年飛行兵学校へ入校。
1944	昭和19年	15	熊谷陸軍飛行学校17期第一区隊(大倉隊)第二班(北山隊)へ配属。
1945	昭和20年 7月	16	出撃予定だったが、乗り込んだ機体が動かず10月に延期となる。
	// 8月		終戦を迎えた後は、福岡県八女工業学校へ復学。
1950	昭和25年	21	結婚して久留米に居を構える。
1990代	平成初期	60代	生存した陸軍少年飛行兵の仲間と東京で同窓会を行う。
2016	平成28年 8月	87	死去。